

第3学年 社会科学習指導案

時間・場所	1校時 3年3組教室
学級	3年3組29名(男15名、女14名)
授業者	舘脇照康

- 1 単元名 市の人たちの仕事 「わたしたちのくらしと店のしごと」
- 2 単元の目標

◎地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

- ・自分たちの住んでいる身近な地域や市、県の社会的事象を学習問題に即して意欲的に観察、調査しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・調べたことや地域社会の社会的事象の特色、相互の関連などについて考えたことを相手にも分かるように表現することができる。(思考・判断・表現)

- 3 児童について

児童はこれまで市の人たちの仕事「りんご農家の仕事」の学習で、1年間を通して農家がりんごづくりに対して、どのような目的でどのような工夫をしているのかについて、予想をたてて考えることができるようになってきた。その反面、自分の考えに自信がもてず、授業中の発言には消極的である。また、授業におけるグループ学習の時間では意見交換をするものの、発表の段階では委縮してしまう場合が多い。

- 4 指導計画(全14時間)

- (1) 買い物調べをしよう・・・1時間
- (2) 表やグラフにまとめよう・・・2時間
- (3) 店のよいところを考えよう・・・1時間(本時)
- (4) スーパーマーケットを調べに行こう・・・6時間
- (5) 働く人たちの様子を調べよう・・・1時間
- (6) 品物はどこから・・・1時間
- (7) 上手な買い物をするために・・・1時間
- (8) これからの買い物のしかた・・・1時間

- 5 本時について

- (1) 目標

◎自分たちが今まで調べた津志田地区の店について、その利用状況や店舗の特徴からそれぞれのよいところに気付くことができる。

- ・自分の調べた店舗について、商品や販売方法の特徴を分かりやすくまとめ、発表することができる。
- ・ほかの店舗と比較して、販売するうえでどのような違いがあるか気付くことができる。
- ・店舗の立地の理由について、自分なりに考えることができる。

- (2) 本時の評価規準

【思考・判断・表現】

今まで調べたことと、ほかのグループの調査結果を比較しながら聞き、それぞれの店舗のよさを考えることができる。

(3) 研究に関わって

本時は、「買い物調べ」から発展した「店のよいところを調べよう」の活動で分かったことを交流し、それぞれの店舗のよいところに気付く活動が中心となる。

・「よさ」を伝える活動の設定

あらかじめ把握している「一日あたりの利用者数」「地図から分かったこと」を中心に、自分の調査結果を分かりやすく発表できるように資料の形式を統一する。

・学び合い活動の工夫

自分の調べた店舗に、どのようなよさがあったか確認する時間を設け、更に他のグループの発表を聞いて、どのようなよさがあったか児童から教師、児童から児童へと伝える場を設定する。

・振り返り活動の工夫

本時の活動をとおして、他のグループが調べたことなどから自分の活動を振り返る。具体的には調査の方法、調べる際の視点などの違いに気付き、振り返りを書かせる。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 10分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習問題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> みんなで調べた店について、それぞれのよいところを見つけよう。 </div>	◆ 評価 ☆復興教育の観点◇特別支援教育の観点 ・いろいろな店について、買い物調べをしたことを振り返る。 ・牛乳パックから課題をもたせる。
展開 23分	3 学習問題について予想をたてる。 (1) ノートに予想を書く。 (2) 発表する。 4 検証する。 ・作成したグラフ等から調べる。 (1) 調べたことから考え、発表する。 それぞれの店舗ではどうか、発表する。 (2) 話し合う ・ペアで交流する。 ・全体で発表する	・できるだけ複数の考えを書かせる。 ・同じ意見でも発言させる。 ◆ 既習事項と比較して資料を見ている。 <div style="text-align: right;">【ノート・発言】</div> ・コンビニエンスストア、スーパーマーケット、専門店、デパートから選んで調べる。 ◇内容や順序を考えることで、安心して発表できるようにする。 ☆「みんなで支え合って前へ」の観点から、全員が同じことを調べ、そこから分かったことを交流し、深めている実感をもたせる。 ・キーワードとなりそうなものには赤いアンダーラインを引かせる。
終末 12分	5 課題のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> (例) 買う人の都合に合わせて商品を売ったり、多くの品ぞろえをしたりするなど、店によってよいところがあります。 </div> 6, 学習を振り返る。 ・資料を比較してわかったこと。 ・友達と自分の考えを比べて気付いたこと。	◆ 今まで調べたことと、ほかのグループの調査結果を比較しながら聞き、それぞれの店舗のよさを考えている。 <div style="text-align: right;">【ノート】</div> ・自分の調べた結果とほかのグループの調べたことを比較してみて自分の活動を振り返る。



10/25. P57.58

課題

それぞれの店にはどのような
よいところがあるだろうか。

15分

スーパーマーケット

品物がたくさんある

コンビニエンスストア

24時間やっている

ショッピングセンター

食事できる

肉屋さん

肉がおいしい

スーパーマーケット



品物がおいしい
が多い。
・24時間
・お昼を付分たり
・にも送分たりで
・家の近くにある。
・トイレも使いやすい
・食事する人が
・多い。
・お店がキレイで
・まよわぬ。
・ポスト

コンビニエンスストア



いろいろな店が集まっている
・食事(作りおき)で
・コンビニエンス
・入り口が多い
・すぐ入れる
・人がたくさん

肉屋さん



肉が新鮮でおいしい
・注文して、すぐ
・買える。
・肉がおいしい
・えびる
・しんせんお肉
・が買える

デパート



品物がおいしい
・食べ物売っている。
・高級なもの
・高い
・おいしい
・イベントやお祭り
・も買える

まとめ
どの店でも、お客様の
使いやすさを考えた
くふうをしています。

ふりかえり
なるほど!
これから何れのお店か

